

1 / 27 28 29 30 31

■競技会場
 県クリスタルパーク恵那スケート場
 ※27日は恵那文化センターで開始式のみ

ここに注目



スピードスケートは、平地で人の能力だけでタイムを競う競技の中で、最もスピードが出る競技です。時速60*を超えて滑走する選手もいます。そのスピードの中でのコーナリングの技術や駆け引きに注目です。



第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（スピード）

ぎふクリスタル国体2021

開幕迫る

国民体育大会冬季大会スケート競技会（スピード）が、令和3年1月27日に開幕します。「ぎふクリスタル国体2021」を大会テーマに、「銀嶺にきらめく夢は無限大」をスローガンに掲げ、9年ぶりに岐阜県で開催。国内トップ選手の大迫力の滑りを間近で応援しませんか。

大会の様子はウェブでもライブ中継する予定です。競技スケジュールや大会の詳細などは、決まり次第、市ウェブサイトや県ウェブサイトでお知らせします。

問 国体開催準備室 ☎ 28-2230



▲県ウェブサイト



▲市ウェブサイト

■スピードスケート競技

種別	種目
成年男子	500㍎、1,000㍎、1,500㍎、5,000㍎、2,000㍎リレー
成年女子	500㍎、1,000㍎、1,500㍎、3,000㍎、2,000㍎リレー
少年男子	500㍎、1,000㍎、1,500㍎、5,000㍎、10,000㍎、2,000㍎リレー
少年女子	500㍎、1,000㍎、1,500㍎、3,000㍎、2,000㍎リレー



遠藤 龍輝

■出身 恵那市三郷町
 ■年齢 23歳
 ■出場種目 500m
 ■過去の戦績 2019ジャパンカップ第2戦 500m Div.B 2位

ホームリンクで恩返し
 自分の武器であるスタートダッシュに磨きを掛けるため、筋力アップに取り組んできました。さらに、レースに必要なスピードを生むために、どんな練習でも、体の連動性を意識しました。
 国体会場のクリスタルパーク恵那スケート場は、幼少の頃から幾度となく通ってきた、僕の「ホームリンク」です。今まで僕を育ててくれた皆さんに恩返しができるよう頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

高田 衛

■出身 北海道帯広市
 ■年齢 22歳
 ■出場種目 1,500m
 ■過去の戦績 2020 ISU四大大陸スピードスケート選手権大会 1,500m 5位

ワクワクするレースに
 シーズンは、国体のレースを想定し、さまざまなレースに臨んでいます。夏場は、レース終盤まで粘ることができるような体づくりや、トレーニングに取り組んできました。本番まで時間があるので、これからも体づくり励みます。
 ぎふクリスタル国体2021では、個人・団体共に優勝を目指し、みんながワクワクするようなレースを展開したいです。コロナ禍でも、自分の滑りで皆さんに元氣を与えられるよう頑張ります。



いちのへ 大地

■出身 北海道美幌町
 ■年齢 23歳
 ■出場種目 1,000m
 ■過去の戦績 2019ジャパンカップ第3戦 1,000m Div.B 2位

感謝を胸に全力で挑戦
 国体ならではの高速レースや駆け引きに対応できるように、さらには、レースの主権を握ることができるように、技術の向上を目指して取り組んできました。
 今回の国体は、新型コロナウイルス感染症対策の実施など、たくさんの方の尽力により開催されます。参加する者として、感謝の思いを忘れずに全力でレースに挑み、会場を盛り上げることができるよう一杯頑張ります。応援よろしくをお願いします。

まさゆき 石川 将之

■出身 山梨県北杜市
 ■年齢 23歳
 ■出場種目 1,000m
 ■過去の戦績 2018全日本学生スピードスケート選手権大会(総合) 1,500m 2位

冷静なレース展開を
 シーズンは、コーナリングの技術に焦点を当てて練習を重ねてきました。国体独特の高速レースが予想されるので、技術でしっかりとカバーできるように、練習の時から意識して取り組んできました。国体では、練習の成果が発揮できるように、優勝を目指して冷静なレース展開をしていきます。
 新型コロナウイルスがまん延する状況ではありますが、スポーツで元氣が与えられるように頑張ります。



国体のスピードスケートはテレビで放送しているような1から4人が二つのコースを交差して滑走するダブルトラックとは違い、一つのコースを複数人の選手が同時にスタートし、集団滑走するシングルトラックです。

国体独自のルール

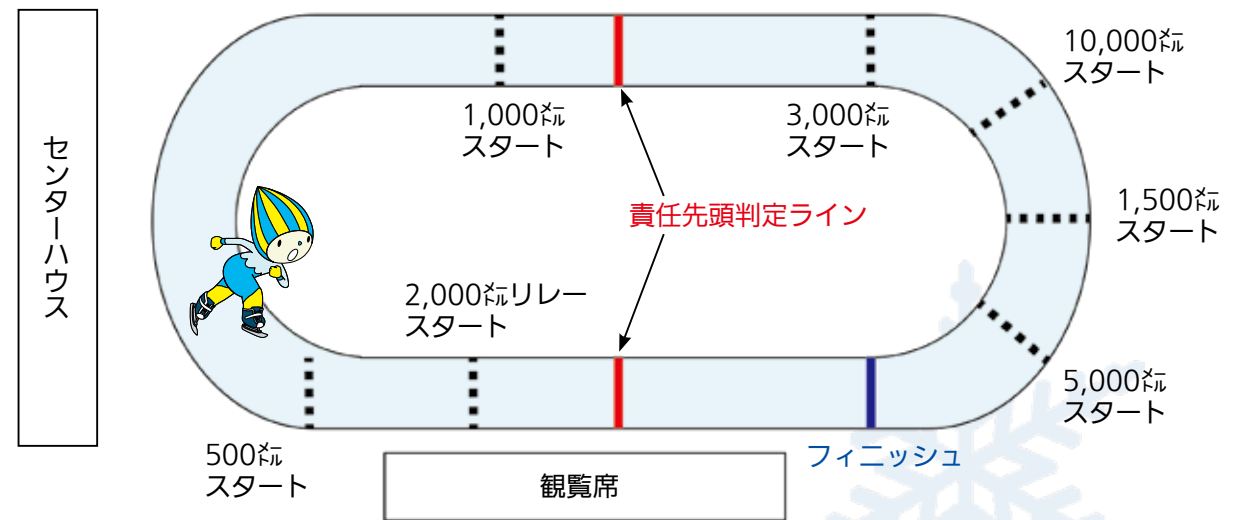
順位は、タイムだけが全てではありません。レースは責任先頭制が取られ、責任先頭のポイントが加えられます。同組や同走者の中からポイント完了者や着順などを判定し、上位選手だけが次のラウンドへ進出します。予選、準決勝、決勝へと勝ち抜いていく、予選方式(エリミネーション方式)で行います。

レースの見方

ダブルトラック競技では、滑走タイムが速い選手が上位になる可能性が高くなりますが、国体のシングルトラック競技では、作戦やレースの流れ、監督の指示などが勝利の鍵を握ります。勝つためには自己力・競技力・チーム力・運も必要。息をのむせめぎ合いが見どころです。
 長距離種目は、相手選手の

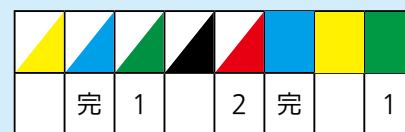
種目	周回数	責任先頭取得可能回数	責任先頭完了回数
500m	1回+112m	—	無し
1,000m	2回+225m	5回	1回
1,500m	3回+337m	7回	1回
3,000m	7回+288m	15回	2回
5,000m	12回+351m	25回	4回
10,000m	25回+316m	51回	8回
2,000mリレー	5回+63m	—	無し

力をうまく利用したり、仲間同士が手を組んで責任先頭ポイントを獲得したりと、レース途中の選手同士の駆け引きやスピードの変化など、さまざまなレース展開を見ることがができます。
 さらに、たくさん選手が一つのコースを滑るため、選手同士の接触もあり、迫力満点です。
 種目別のトラック周回数や責任先頭の回数などは、左の表を参照してください。



Q 獲得したポイントはどこで確認できるの？

A リンク中央に、下の図のような掲示板を設置し、そこに表示します。選手のキャップの色で判断し、先頭通過した場合は、「回数」や「完了」が表示されます。



Q ゴールや責任先頭制の判定は？

A 責任先頭は、上の図のようにコース両側のストレート中央にある判定ラインを先頭で通過します。その判定ラインやフィニッシュラインを、選手の手か腕を除いた体の一部が到達したときを判定します。

Q 責任先頭制って？なぜあるの？

A 数人が縦に並んで滑った場合先頭の選手が風圧を一身に受けて疲労しやすくなり、後ろを滑る方が有利になります。そこで、中・長距離のレースでは、距離に応じて一定の回数、先頭に立つことを義務付け、その回数を完了した選手を優先して順位付けします。この責任先頭制は、国体のスピードスケート独特の制度です。